

# 配水池点検・清掃

【老朽化した配水池等の水道設備の点検を含む維持管理に対応】

厚生労働省ガイドラインに示される通り近年、配水池内部を含む水道施設内部の維持管理に対する関心が増えています。専門技術者と自社所有の協会認定機材等により、予算や状況に合わせた配水池内部の清掃、点検調査を含む維持管理を提供します。

## 点検・清掃結果一例

### 特徴

- ① 水中ロボットによる配水池等の安全で衛生的な清掃及び点検を、施設の運転を停止することなく実施します。
- ② 日本水中ロボット調査清掃協会、全国水道管内カメラ調査協会認定機材を含む、水中ロボット、小型水中カメラ、管内調査カメラにより、予算や状況に合わせた様々な調査が可能です。
- ③ 高い技術と豊富な実績を持つ熟練したロボット清掃施工管理技士資格者による運転操作で、安全且つ効率的な施工を行います。



底版・清掃前後



底版・損傷状況

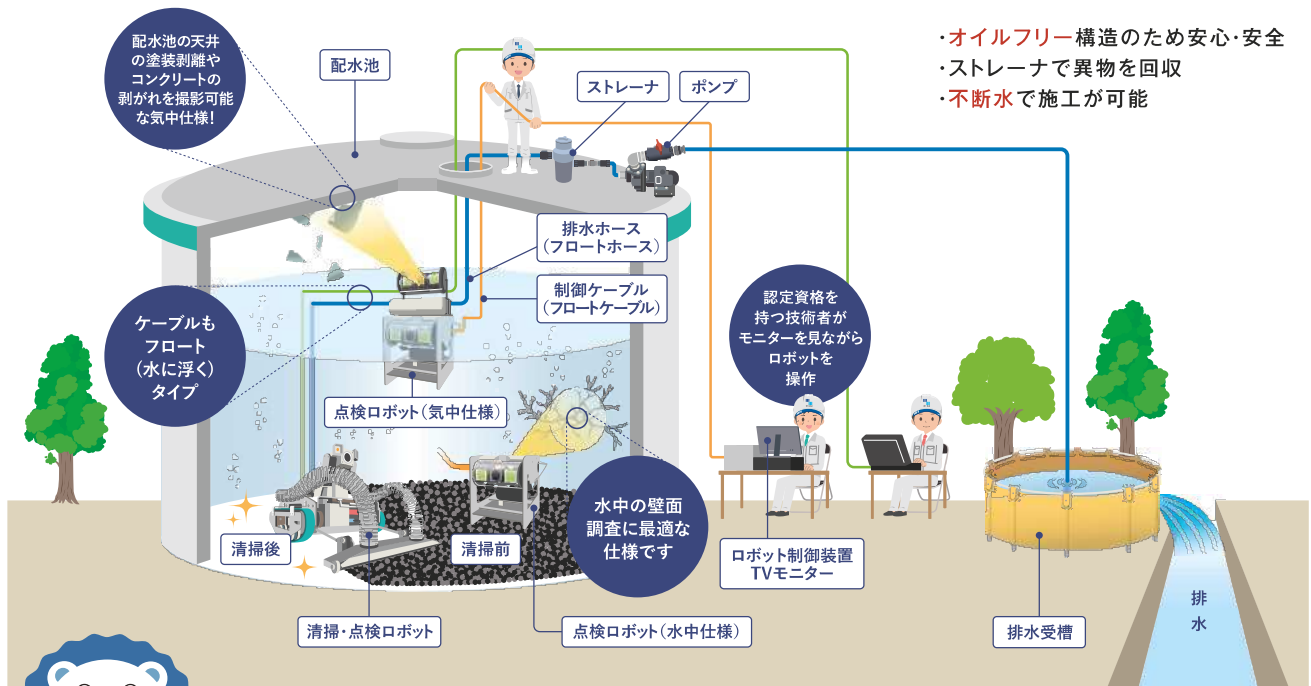


頂版・塗装はがれ



頂版・鉄筋露出

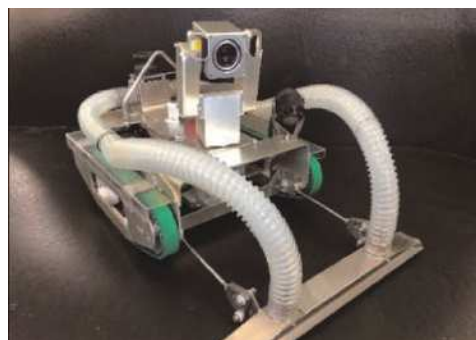
## 施工概要図



## ロボット仕様



点検ロボット



点検・清掃ロボット

項目	点検ロボット	点検・清掃ロボット
重量	14.8kg(気中カメラ装着時:19.5kg)	18kg
寸法	W280mm×L380mm×H340mm 気中用:H593mm	W368mm×L620mm×H335mm
最大耐水深	50m	40m
ケーブル長	200m	50m
ラインレーザー幅	80mm	ラインレーザー無
走行速度	1.5m/s	Min:0cm/s - Max:8cm/s

## ロボットを用いた配水池点検・清掃

- 不断水で施工可能
- 開口部(ロボット搬入口)がφ600mm以上で施工可能
- 中性浮力の動力ケーブル、排水ホースを使用し、堆積物の巻き上げを防止
- 上水道専用ロボットは、使用の都度消毒するため衛生的
- 点検・清掃ロボットはツインカメラ方式を採用し、池内点検、清掃確認が同時に可能
- 点検ロボットはラインレーザー(幅80mm)で定量的な調査が可能
- 「水道維持管理指針2016(p.437)」に記載された信頼のおける工法
- 全国水道管内カメラ調査協会認定の点検ロボットを使用